

特長

この時計は、時刻表示機能(時、分)のほかに、以下の機能を備えています。

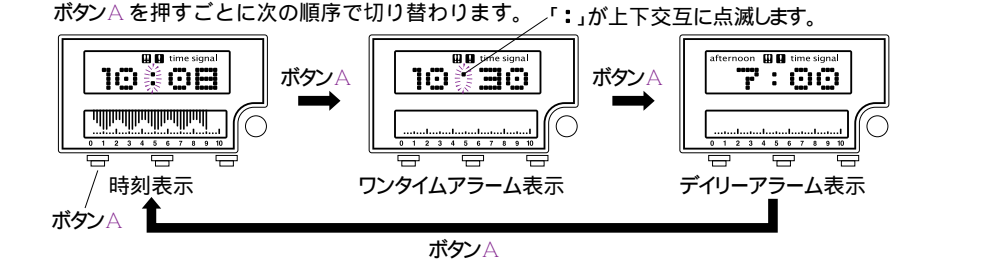
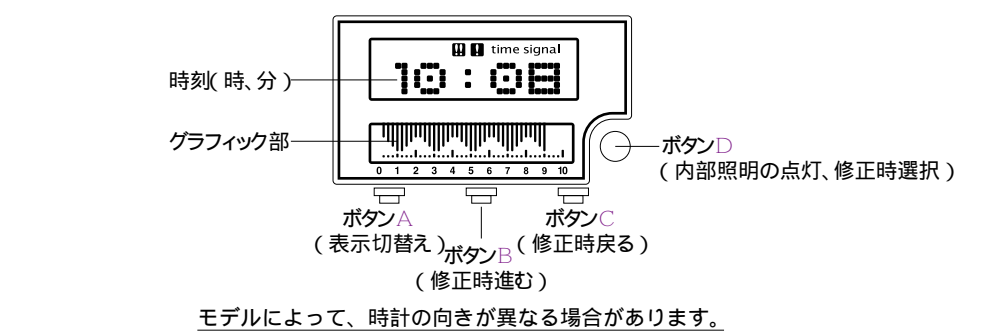
- カレンダー表示機能.....日、曜日表示できます。
- フルオートカレンダー機能...月末のカレンダー修正の必要がありません。(200年～2050年)
- ワントゥタイムアラーム機能.....設定した時刻に1回だけ鳴るアラームがセットできます。
 - ワントゥタイムアラームのサウンドデモンストレーションができます。
- デイリーアラーム機能.....設定した時刻に毎日鳴るアラームがセットできます。
 - 時報も設定できます。デイリーアラームのサウンドデモンストレーションができます。
- 内部照明機能.....ボタンDを押すと内部照明(パネライト)が点灯します。
 - 約3秒間の残照式です。

サウンドデモンストレーション...アラーム音を試し聴きできる機能のことです。パネライトに使用しているエレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。(詳しくは「エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)について」を参照)パネライト点灯時に音がありますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。

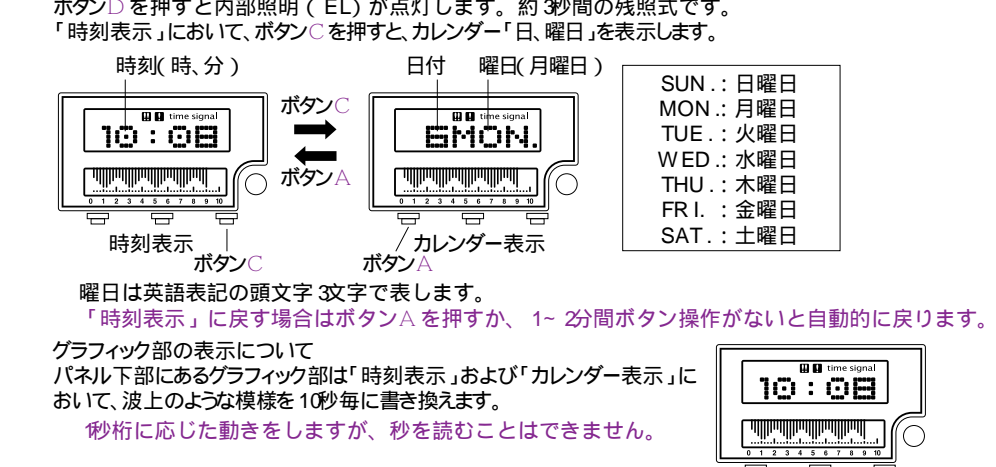
製品仕様

- 水晶振動数.....32,768 Hz (Hz = 1秒間の振動数)
 - 精度.....平均月差 ± 30秒 (気温5 ~ 35において腕につけた場合)
 - 作動温度範囲.....-5 ~ +50 ただし表示機能は0 ~ +50
 - 表示体.....F E (電界効果)型ネマチック液晶
 - 使用電池.....小型リチウム電池SB-T11:1個
 - 電池寿命.....約2年
 - 内部照明.....E L (エレクトロルミネッセンス)
 - 電子回路.....発振、分周、駆動、E L回路(C・MOS・IC):1個
- 上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

ボタンの名称と表示の切り替え

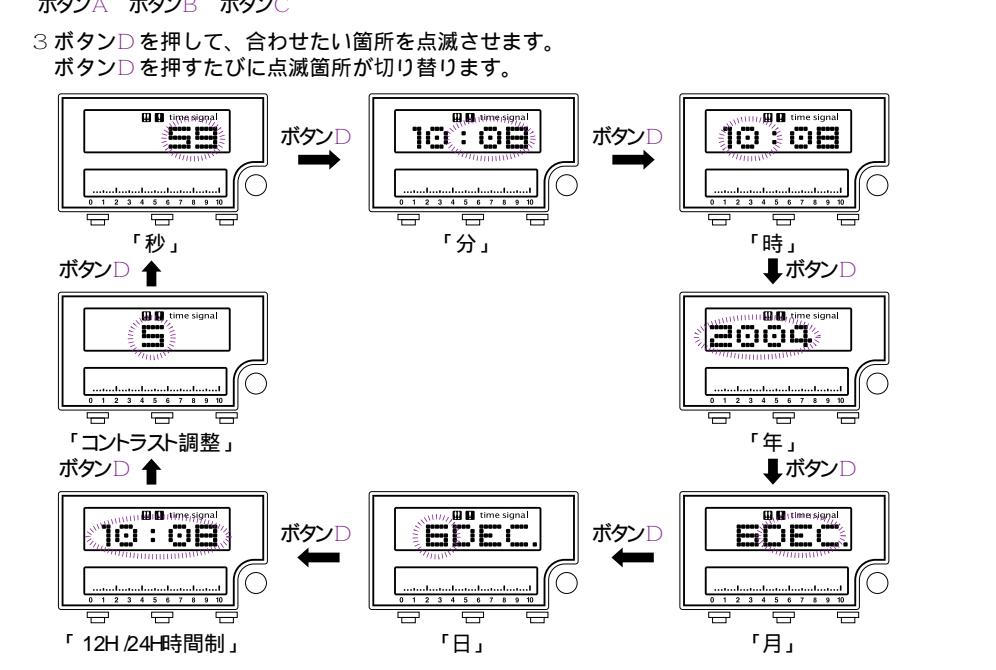


表示が切り替わると、「時刻表示」等が右からスクロール(流れ)表示します。また「ワントゥタイムアラーム表示」と「デイリーアラーム表示」に切り替えた場合は、「1-AL」または「ALARM」の文字が上から出て左へスクロール表示します。「ワントゥタイムアラーム表示」と「デイリーアラーム表示」において、1-2分間操作をしないと自動的に「時刻表示」に戻ります。上図はワントゥタイムアラームを「午前10:30」に、またデイリーアラームを「午後7:00」にセットしてある場合です。

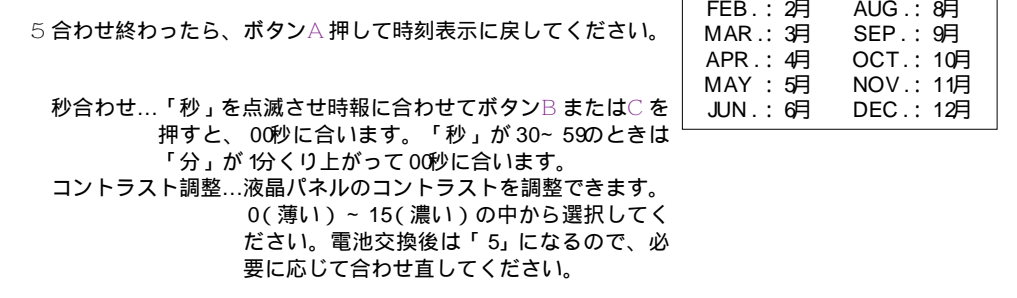


時刻とカレンダーの合わせかた

- ボタンAを押して時刻表示にしてください。
 - ボタンAを2-3秒押し続けて「時刻とカレンダー合わせ」状態にしてください。「秒」の点滅表示に切り替わります。グラフィック表示は消灯します。
- この状態で1-2分間操作をしないと自動的に時刻表示に戻ります。「カレンダー表示」(日付・曜日)において、ボタンAを2-3秒押し続けると同じように「時刻とカレンダー合わせ」状態になります。

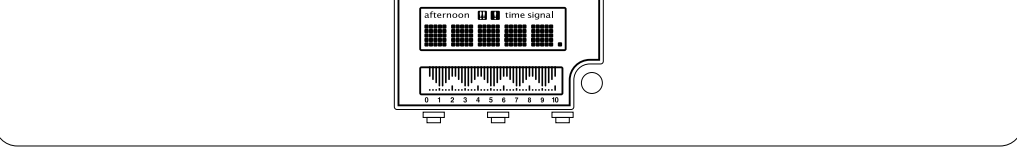


- ボタンAまたはCを押して合わせます。ボタンBを押すごとに点滅している所が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。ボタンCを押すごとに点滅している所が1つずつ戻り、押し続けると早く戻ります。「時、分」が同時に点滅している場合、12時間制表示と24時間制表示を切り替えます。12時間制表示を選択している場合はマーク無し(午前)または「afternoon」(午後)マークで午前、午後が表示されます。「コントラスト調整」については下記をご覧ください。



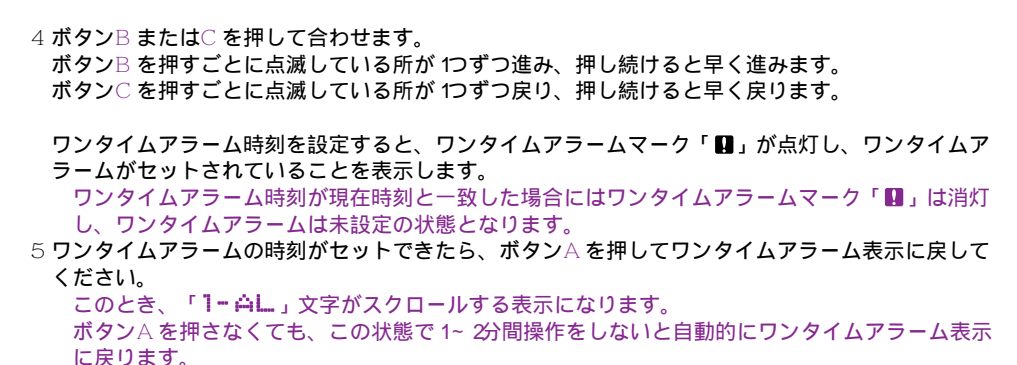
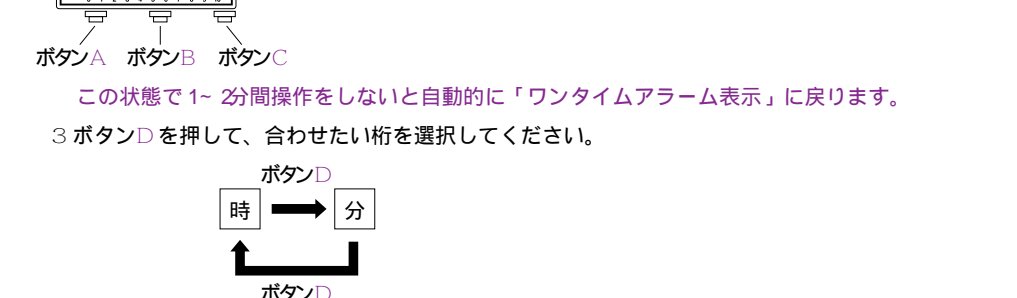
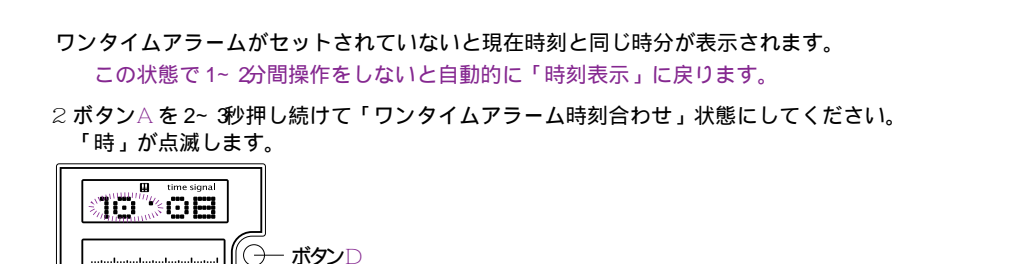
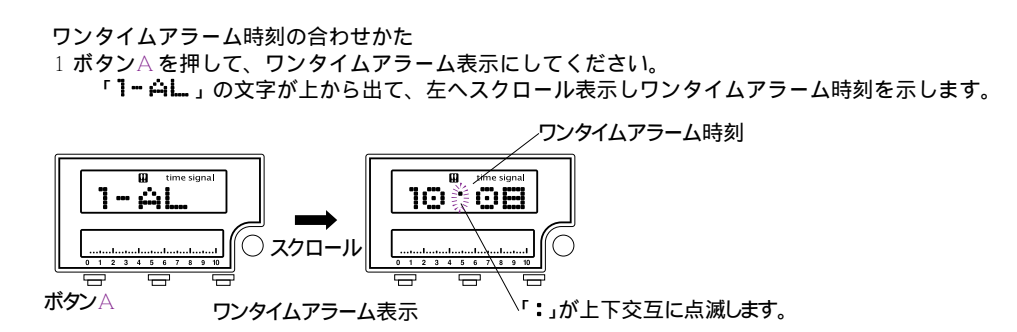
5 合わせ終わったら、ボタンAを押して時刻表示に戻してください。

秒合わせ...「秒」を点滅させ時報に合わせてボタンBまたはCを押すと、0秒に合います。「秒」が30-59のときは「分」が分り上がって00秒に合います。コントラスト調整...液晶パネルのコントラストを調整できます。0(薄い)~15(濃い)の中から選択してください。電池交換後は「5」になるので、必要に応じて合わせ直してください。



ワントゥタイムアラームの使いかた

- 現在時刻からアラーム時刻を合わせますので、現在時刻に近い時刻に合わせる場合に便利です。
- ワントゥタイムアラームは1回アラームが鳴るとキャンセルされます。
 - 毎日決まった時刻にアラームを鳴らせる場合はデイリーアラームが便利です。
- ワントゥタイムアラーム音の試聴(サウンドデモンストレーション)ができます。

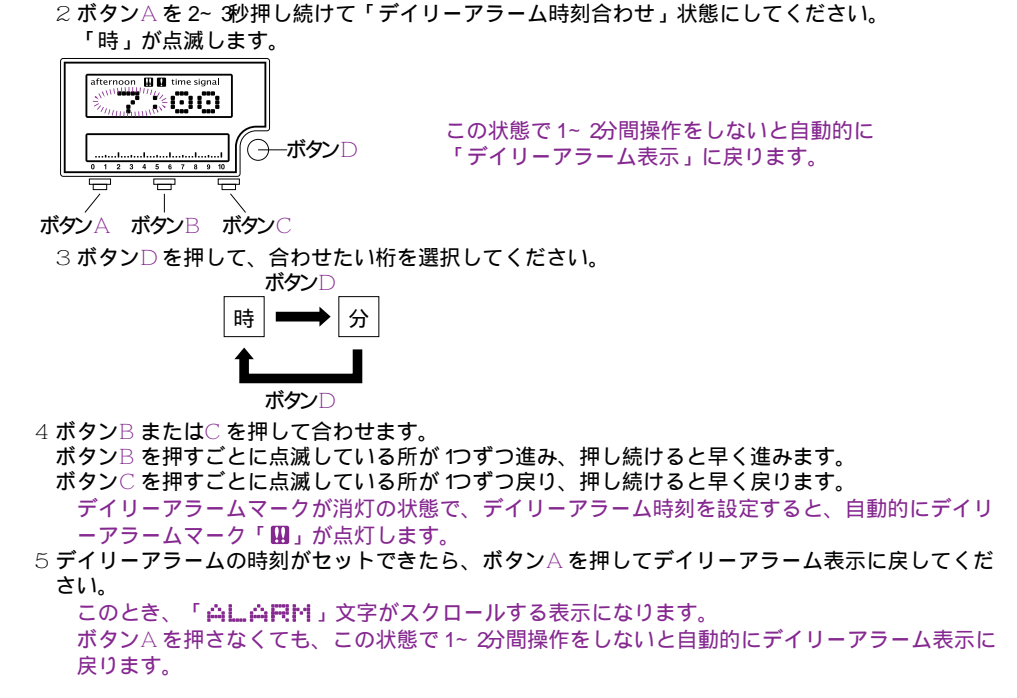
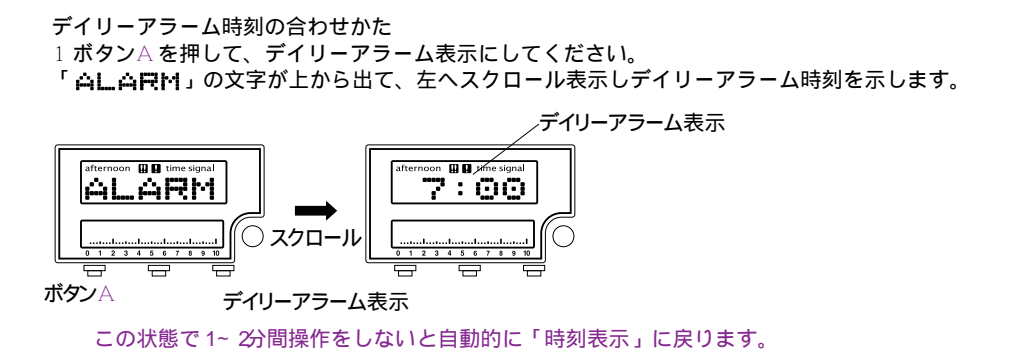


鳴っているワントゥタイムアラームを止めるには、ワントゥタイムアラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続きます。アラーム音はデイリーアラーム音とは異なります。鳴っているアラーム音を途中で止める場合は、ボタンA、B、C、Dのどれかを押してください。どの表示の時でも、この操作は可能です。ワントゥタイムアラームは1回鳴ると自動的に設定がキャンセルされます。「■」マークは消灯します。

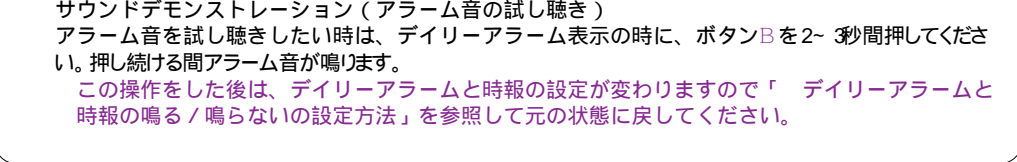
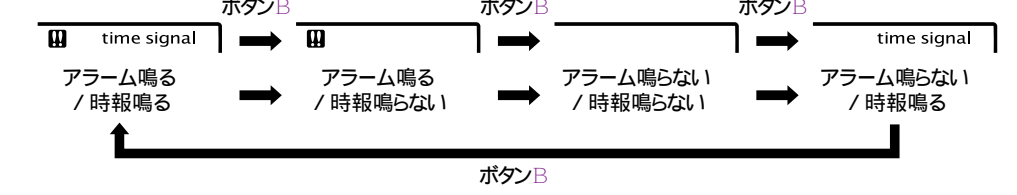
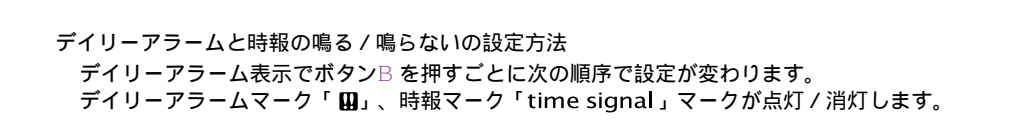
- ワントゥタイムアラームをキャンセルする方法
- セットしてあるワントゥタイムアラームをキャンセルしたい。
 - 1 「ワントゥタイムアラーム表示」にしてください。このとき、セットしてあるワントゥタイムアラーム時刻が表示されます。
 - 2 ボタンBとCを同時に押してください。ワントゥタイムアラームがキャンセルされると、「■」マークは消灯します。

デイリーアラームの使いかた

- 1日(24時間)に1回鳴るデイリーアラーム機能です。
- デイリーアラーム音の試聴(サウンドデモンストレーション)ができます。
- 時報の設定ができます。



鳴っているデイリーアラームを止めるには、デイリーアラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続きます。アラーム音はワントゥタイムアラーム音とは異なります。鳴っているアラーム音を途中で止める場合は、ボタンA、B、C、Dのどれかを押してください。どの表示の時でも、この操作は可能です。



電池交換後のお願い(システムリセット)

電池交換後または、万一異常な表示(読めない表示など)になった場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムリセットされ、正常に機能するようにになります。システムリセットのしかた

- ボタンA、B、C、Dの4つのボタンを同時に2-3秒押すと、表示が消え、ボタンを離した後、「午前12時00分00秒2003年1月1日 コントラスト=5」の設定になります。システムリセット後は、初期状態になりますので、時刻とカレンダー合わせを行ってください。

電池について

- 電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。ただし、アラーム音1日10秒以内、内部照明の点灯を1日1回を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
 - 最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
 - 電池交換
1 電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指名の上、ご用命ください。
2 電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
3 電池交換は、保証期間内でも有料となります。
4 電池交換等で裏蓋を開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。
- △警告
- お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
 - やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
 - 万一飲み込んだ場合は、体に害があるため直ちに医師とご相談ください。
- △注意
- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
 - この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
 - 「常温(5 ~ 35)」からはずれた温度「下」で長時間放置すると電池寿命が短くなる場合があります。

エレクトロルミネッセンス(内部照明)について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス(EL)パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度(明るさ)が低下します。また、EUVバンドは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。EUVバンドの輝度は、点灯時間の累積で約12時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池を交換しても暗すぎる場合は、EUVバンドの交換となります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けします。

使用上の注意とお手入れの方法

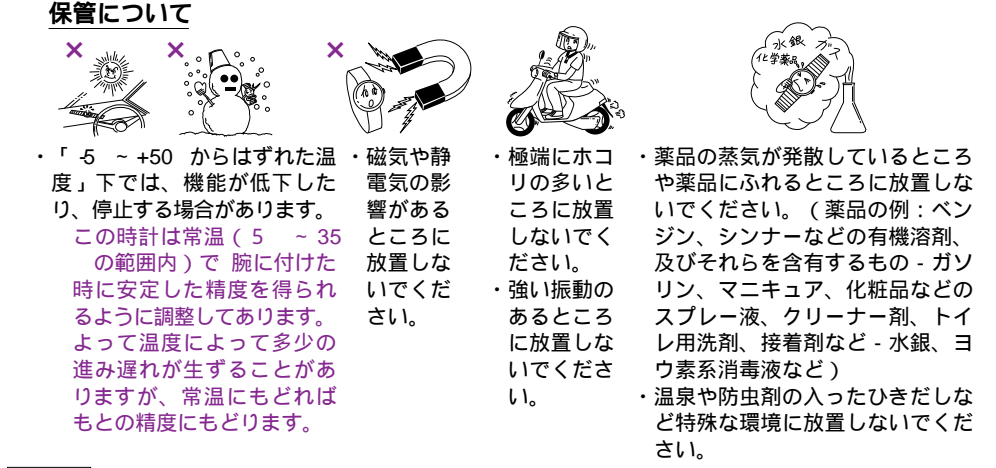
- △注意
- 日常のお手入れ
- ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
 - 時計をはずしたときには、柔らかい布などで汗や水分を拭き取ってください。汚れも取れ、ケース、バンド、およびパッキンの寿命がちがってきます。
- 金属バンド
- 金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。
- 皮革バンド
- 革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

軟質プラスチックバンド

フレキシビリティなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたら、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなったたり切り傷がある場合があります。特に半透明のフレキシビリティは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数か月のご使用で起こり始める場合があります。湿度の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておく、早く変色することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですでの溶剤によっては変質する場合があります。

非防水時計は、水(水道の水は雨、雪など)や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸水性のよい布などで水分を拭き取ってください。日常生活用強化防水時計は海中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、たまたま真水で洗ってください。回転ベゼルつき時計の場合、ベゼルの下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にしてご使用ください。

- △注意
- ### かぶれやアレルギーについて
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
 - かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
 - かぶれの原因として考えられるのは、
 - 1.金属・皮革に対するアレルギー
 - 2.時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
 - 3.万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。



△注意

防水性能

時計の文字板または裏蓋にある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にのって正しくご使用ください。

水分のついたまじりカスを回したり引き出ししないようにしてください。時計内部に水分が入ることがあります。

非防水	強化防水	5気圧防水	10-15-20気圧防水	ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のある時計	ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のある時計	ケースの裏にWATER RESISTANT 5-10-15-20BARか、WATER RESISTANTマークの表示のある時計	空気/水を入れないでください	空気/水を入れないでください	空気/水を入れないでください	空気/水を入れないでください	空気/水を入れないでください
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

- ### 入浴について
- 10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のご注意に注意してください。
 - 時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。(防水機能が維持できなくなることがあります)
 - 温水で時計が温まると、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

- △警告
- 日常生活用防水(3気圧)の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
 - 日常生活用強化防水(5気圧)の時計は、スキダイビングを含めて全ての潜水で使用できません。
 - 日常生活用強化防水(10-20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

- △注意
- 提灯時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つける事がありますのでご注意ください。

- ### その他、携帯上ご注意ください
- バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
 - 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
 - 特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。
- ### 定期点検について
- なるべくご愛用いただくために、2-3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分の原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店でご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
 - 部品(電池)交換の際は、「純正部品(電池)」をご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので早めに交換をご依頼ください。
 - 定期点検や電池交換の際にはパッキンやパネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、5年を過ぎますとコントラストが低下したり数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けします。

修理について

- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。
- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
 - (補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- 修理可能な期間はご使用条件によりいちよしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただきます。またはケースごとの一式交換や代替品に替わることがありますので、ご了承ください。
- 修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。

VMDGについて

VMDG(ビビジ)は色表現やライト点灯時の光り方で様々な表現を実現した新しい液晶パネルです。主な特徴として

- 1光の透過率、反射率が高く液晶パネルが鮮やかにはっきりと見えます。
- 2デジット(文字・数字)や液晶の背景全体にカラーや様々な仕上げを施すことができます。
- 3画面全体の発光やセグメント(表示内容)のみの発光ができます。

上記の特徴は機種によって異なります。